

# 学校自己点検・評価結果（2024年度）

## 1. 学校自己点検・自己評価

専修学校の学校評価は、平成19年の学校教育法および同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、および②学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されています。

## 2. 自己点検・自己評価についての取り組み

2015年度より6年間は、舟島なをみ氏の評価ツールと他校の評価項目を参考に学校独自の50項目の評価項目を作成し自己評価を実施してきました。しかし、評価項目の意味を確認すると、重複しているものや、意味の理解に難解なものがある事実に行き着きました。そこで、2021年度からは舟島なをみ氏の評価ツールと文部科学省が規定する「専修学校における学校評価ガイドライン」を本校に当てはめ、52項目のものを作成し実施しています。

学校関係者評価は、2019年度から実施を開始しています。

## 3. 教員の評価項目の解釈差異

教員個々の解釈により差が生じないように、項目の理解を図る教職員会議を設けた上で自己評価を実施しました。

## 4. 自己評価結果（別紙）

自己点検・自己評価項目は、I 教育理念・目的 II 管理運営 III 教育活動 IV 学修成果 V 学生支援 VI 教育環境 VII 学生の募集と受け入れ VIII 財務 IX 法令用の順守 X 社会貢献・地域貢献 の10の評価内容に分類し、52の小項目評価について実施しています。評価は4段階とし、4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切の評価となります。

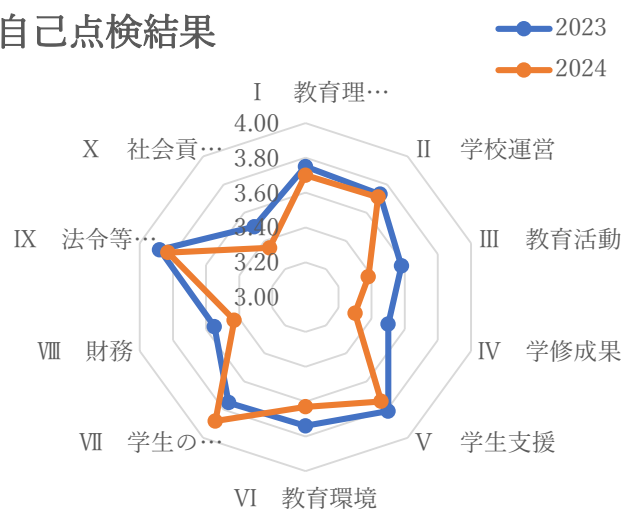
2023年度の各内容における総平均点は以下の結果となりました。

### 2024年度評価結果

3.5以下赤字

評価 大項目	2023	2024
I 教育理念・目的	3.75	3.70↓
II 学校運営	3.73	3.71↓
III 教育活動	3.58↓	3.38↓
IV 学修成果	3.50	3.30↓
V 学生支援	3.81	3.74↓
VI 教育環境	3.74	3.63↓
VII 学生の募集と受け入れ	3.75	3.88
VIII 財務	3.55↓	3.43↓
IX 法令等の順守	3.88	3.83↓
X 社会貢献・地域貢献	3.50	3.35↓

### 自己点検結果



## I. 教育理念・目的

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
1	教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	4.0	4.0	教育理念・目的・育成人材像は定めている。 教育理念をもとに一貫性がある。
2	学校における看護教育の特色は明確であるか	4.0	3.8	「感じ、考え、自己を見つめ直せる看護実践者を育成する」 ことを主軸に、リフレクションと社会人基礎力に重点を置いて いる。
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.4	3.6	千葉県北東部、茨城県南東部を診療圏とする地域中核病院 の附属看護専門学校としてのあるべき姿はみえている。 出生数が2024年度は70万を切るといわれている。 大学全入時代も相まって全国的に専門学校の入学者は激 減している。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・ 保護者等に周知されているか	3.6	3.4	学生には理念・目的を折に触れ説明している。 保護者会は1年次2回と3年卒業時1回実施している。 学年だより年2回発行している。 ホームページ(以下HP)で学校生活の様子を定期的に掲載 している。

### ①課題

・選ばれる看護専門学校像の明確化

### ②特記事項

## II. 学校運営

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9	3.9	教育理念・目的・目標から運営方針が策定されている。
6	理念等を達成するための事業計画が策定されているか	3.8	3.8	母体病院経営企画室からの年度計画に基づいた事業計画 を策定し実績報告まで実施している。 年度末評価から学校運営重点課題の策定し共有している。
7	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確 にされているか、有効に機能しているか	3.7	3.9	諸規定9(学校運営に係る諸会議に関する規程)で明確化さ れている。 会議等で周知・共通認識できている。
8	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4.0	3.5	就業規則で明確化されている。 人事交流や再雇用に関する規程は整備途上である。
9	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備 されているか	3.7	3.9	母体病院との連携がされ適正である。
10	教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	4.0	3.9	教育課程が示されている。 HPや院内報(毎月掲載)で教育活動を公開している。
11	情報システム化等による業務の効率化が図られてい るか	3.1	3.1	スラックの活用で連絡の効率化が図れている。

### ①課題

・人事交流、再雇用職員の入職に対する業務規程等の整備

### ②特記事項

・2023年度入学(61回生)より電子教科書使用開始:導入2年経過  
・2025年度中に教務システムのインフォクッパの入れ替えあり

### Ⅲ. 教育活動

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
12	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4.0	3.7	教育理念に基づいた策定がされている。
13	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7	3.4	修業年限に対応しているが、学生の基礎学力低下や価値観の多様化から、やや過密になっている。
14	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	3.7	新カリキュラムに応じた体系的かつ柔軟に編成されている。
15	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.6	3.1	看護師養成は職業教育である。当校は専門学校のみとして“実際性”を重視した教育を行っている。教員個々が努力や自己研鑽はしている。教員同士の研鑽には弱さがある。
16	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9	3.7	授業評価アンケート、実習評価アンケートを実施している。
17	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3.9	4.0	学則、細則、規程で計画にしている。学生生活のしおり(学生便覧)として学生に配布し周知している。
18	目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	3.8	3.5	教育の分断を避けるための学力向上プロジェクトをおいている。授業とは別に国家試験対策として講義担当講師による特別講義を35回実施している。国家試験対策に特化した講師を招致して対策講義を実施している。模試の計画的実施と模試結果をもとに個別指導を実施している。
19	資格・要件を備えた教員を確保しているか	2.7	2.1	看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインで定められた教員数は10名である。教員数は期首11名、期末10名。専任教員資格を有する者は期首8名で期末は7名。
20	関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	3.1	3.2	日本看護学校協議会および千葉県看護学校協議会に加入し研修会や他校との交流が図れる機会はある。オンデマンドの活用による学習機会が増えている。授業研究のシステムはあるが、全教員の実施には至っていない。教員ラダーを用いて自己の課題を把握しはじめた。

#### ①課題

- ・専任教員10名の確保
- ・業務整理による教職員の定着
- ・教員の資質向上を支援する基盤整備

#### ②特記事項

- ・教員採用可能人数13名
- ・指定規則上10名の専任教員が必要
- ・人事交流制度による看護教員2名(2024年度)
- ・再雇用職員2名(2024年度) ※看護管理者セカンドレベル修了:専任教員数として申請可
- ・2023年度から教員ラダー使用開始

#### IV. 学修成果

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
21	就職率の向上が図られているか	3.9	3.7	卒業人数が入職人数にならない年もある。 奨学金制度により、就学状況が反映されことなく採用が決定する。 就職3年で母体病院を退職する卒業生が多い。
22	資格取得率の向上が図られているか	3.8	3.7	学力向上プロジェクトと連携した個別支援により国家試験合格率は安定している。 直近10年は合格率100%6回、全国新卒合格率より下回ったことはない。
23	退学率の低減が図られているか	3.3	3.0	退学者ゼロは非現実的であり、一定数存在する。 進路変更等前向きな理由ばかりではなく、学力低迷(単位未取得など)によるものもある。 退学者の大幅な増減はない。 退学者がでる時期としては1年次、本格的な領域別実習開始直前、実習開始後が多い。
24	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0	2.8	母体病院関連の把握に留まっている。

##### ①課題

- ・旭中央病院における看護師確保
- ・主体的な学な学びのできる学生の育成
- ・退学者の低減

##### ②特記事項

- ・2022年度卒業生2名、2024年度卒業生1名他施設へ就職

#### V. 学生支援

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
25	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9	3.9	奨学生であることから入学時より母体病院への就職が決定している。 母体病院には助産師資格取得への経済的支援体制(奨学金)がある。
26	学生相談に関する体制は整備されているか	3.7	3.8	学年担当による定期面接を実施している。 実習不合格者には実習調整者面接を実施している。 スラック導入により相談窓口のツールが増えた。 学校カウンセラーの利用者は2024年度1名。 社会的に看護学校における教員ハラスメントが注視されている。 学生および保護者から教員の指導に対する意見はであるが、解決は図れている。 実習先での患者からのセクハラ行為に関しては、速やかに看護局と連携して対応している。
27	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3.9	経済的支援は他校よりも群を抜いて充実している。 奨学金4万円の支給により、授業料(15,000円/月)および学生住宅費(11,700円/月)の支払いが可能である。 その他、貸付金、高等教育修学支援制度対象校、専門実践教育訓練の給付金制度も準備できている。
28	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3.9	健康管理規定に基づき、母体病院の支援をうけて健康管理を実施している。 定期健康診断、各種ワクチンの接種、旭中央病院感染対策室と指導のもと新型コロナウイルス対策も実施している。

29	学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	3.9	3.7	Wi-Fi環境が整備された学生住宅が準備されている。建物の老朽による住みにくさは少なからずあるが、入居費11,700円(光熱費込み)は安価である。入居学生による生活環境整備に課題あり。
30	保護者と適切に連携しているか	3.9	3.9	再試験5科目以上となった時点で保護者と状況を共有し支援を要請している。原級留置が危ぶまれる時には適切なタイミングで保護者と電話面談をしている。保護者との電話面談件数は年々増えている。保護者との連携内容によっては、教務長が窓口となり対応している。
31	卒業生への支援体制はあるか	3.4	3.6	母体病院看護局の協力のもと、卒業後の就業支援を目的としてホームカミング日を6月に実施している。出席率は高く、卒前教育と卒後教育の橋渡しに有用である。病院と学校が同敷地内にあるため就職後に来校する卒業生もいる。「卒業時社会人基礎力」を作成し看護局と連携を図っている。
32	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.7	3.6	社会人入試を実施している。専門実践教育訓練給付金制度あり。学費は安価である。不利益のない調整ができています。
33	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.9	3.4	高校ガイダンス、オープンキャンパスを開催している。

①課題

- ・学生住宅の学生による自治運営の強化

②特記事項

- ・ハラスメント防止対策に関する規程を2025年度4月から施行する予定
- ・患者によるセクシャルハラスメント(2023年度2件、2024年度1件)他、ハラスメント案件なし
- ・2023年度新卒採用者離職率 10.2%と高止まり(2024年3月発表 日本看護協会資料より)
- ・2023年度卒業生1名助産師養成校へ進学し、2025年4月度助産師で入職予定。
- ・2025年度より近隣高等学校(総合学科:教科 看護)に当校教員が特別非常勤講師として採用される

## VI. 教育環境

点検・評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
	2023	2024	
34 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7	3.4	校舎は竣工してから約30年が経過し、破損や老朽化した設備もあるが、教育に対応できる設備である。ガイドラインで指定されている設備・備品はある。Wi-Fi環境の設備もできている。
35 学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.8	3.5	母体病院の実習指導者委員会と連携をはかっている。委員会は実習要項の共有が活動の主であり指導者との学習会はもてていない。実習前には電子カルテ講習会を受講している。母体病院以外の外部実習と協働がとれている。Zoomを活用した千葉県看護学生研究発表会への参加もできている。スキルセンターの活用も可能である。
36 防災に対する体制は整備されているか	3.8	4.0	防災計画に基づき4月に1年生対象災害訓練、9月には3学年合同の災害訓練、2月には学生住宅災害訓練を実施している。2月には病院総合防災訓練に3年生が参加している。

①課題

- ・母体病院看護局との連携→臨地実習環境の整備(教員と臨床指導者との協働)

②特記事項

## VII. 学生の募集と受け入れ

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
37	学生募集活動は、適正に行われているか	3.7	3.8	オープンキャンパスを対面で7月と8月に開催し、延べ本人115人、保護者96人参加があった。 入試形態は推薦選考(指定校、公募)、社会人選考、一般選考(一次、二次)を実施している。 入学者選考受験者の延べ数は、2024年度入学者選考91人、2025年度入学者選考89人であり大幅な減少はない。 入学者数は2024年度46名、2025年度は48名であった。 18歳人口減少の中にあっては学生確保は健闘といえる。
38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4	3.8	オープンキャンパスや学生ガイダンスで教員が説明している。 HPで教育活動などの写真を定期的に掲載している。掲載数は2023年度6回、2024年度30回以上と大幅増である。
39	入学選考基準を明確化し、適正に運用しているか	3.9	4.0	入学選考基準はHPおよび募集要項にて公表している。 入学者選考は会議を経て決定している。 2025年度推薦選考の指定校に鹿島学園高等学校を追加し、指定数の最大数の生徒が受験し入学している。
40	学納金は妥当なものとなっているか	4	3.9	千葉県内の専門学校では群を抜いて学費は安価である。

### ①課題

- ・選ばれる学校づくり
- ・入学者を集められる広報戦略

### ②特記事項

- ・2023年度入学者選考から公募推薦導入
- ・2024年度入学者選考から一般選考を年内実施に早めた
- ・2024年度からガイダンス担当者変更(事務職員から教務長へ)
- ・2026年度入学者選考から入試科目の変更等を行う予定

## VIII. 財務

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.8	2.7	母体病院の経営により左右される。 新型コロナウイルスや診療報酬改定等の影響から母体病院の財政基盤は安定とはいえない。 運営上必要な予算は母体病院から措置されている。
42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8	3.6	予算会議を経ており妥当性は確保できている。
43	財務について適正に執行管理が行われているか	3.7	3.6	母体病院の事務局経理課および学校事務にて適正に管理されている。
44	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0	3.6	母体病院の事務局にて適正にHPIにて公開している。

### ①課題

- ・経費削減

### ②特記事項

## IX. 法令等の遵守

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
45	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	3.9	3.6	専修学校設置基準等を遵守し運営している。 項目19)看護教員養成講習会を未受講者あり。
46	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.6	3.6	個人情報のデータ管理はシステムを用いている。 個人データ使用時のダブルチェック機構はあり。
47	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.9	3.8	年度末に自己評価を実施し、達成度を教職員会議で共有している。 評価結果から課題を明らかにし改善計画を立案し実施している。
48	自己評価結果を公表しているか	4.0	4.0	HPIに掲載している。
49	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0	4.0	学校関係者委員会を開催し、評価、助言をもらっている。 在校生(自治会役員)が評価委員に加わったことでより透明性がある。
50	学校関係者評価結果を公表しているか	4.0	4.0	HPIに掲載している。

### ①課題

・専任教員10名の確保

### ②特記事項

## X. 社会貢献・地域貢献

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切		備考
		2023	2024	
51	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6	3.7	近隣小学校および近隣住民の避難場所として施設を提供している。 地域活動として、おひさまテラスで行われた病院まつりに学生も参加している。 毎年、看護学校を会場に献血を実施し、約35名の学生等が献血に協力している。
52	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.4	3.0	ボランティアサークルは存在するものの、学生全体に向けての奨励は弱い。

### ①課題

### ②特記事項

## 2024年度 学校関係者評価報告 (旭中央病院附属看護専門学校)

旭中央病院附属看護専門学校は、「2024年度学校自己点検・自己評価」の結果をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 日時 2025年3月25(火) 14:00~15:20

2. 場所 旭中央病院附属看護専門学校 会議室

3. 出席者

1) 評価委員：5名

①関連業界等関係者

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 総務人事課長

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 看護局長

②卒業生

旭中央病院附属看護専門学校 同窓会長

③教育に関し知見を有する者

旭中央病院附属看護専門学校 教育学講師

④在学生

旭中央病院附属看護専門学校 自治会代表

2) 学校関係者

旭中央病院附属看護専門学校 学校長

旭中央病院附属看護専門学校 事務長

旭中央病院附属看護専門学校 教務長

旭中央病院附属看護専門学校 実習調整者

旭中央病院附属看護専門学校 主任教員

4. 2023年度 学校関係者評価結果

※評価は4段階(適切、ほぼ適切、やや不適切、不適)

### 1. 教育理念・目的

	評価項目	全体評価結果
一 教育 理念 ・ 目的	1 教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	適切：2 ほぼ適切：8
	2 学校における看護教育の特色は明確であるか	
	3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
	4 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者・に周知されているか	
意見等	・学校理念等は学生に周知されていると感じるが、保護者に周知しきれていないのではないかと思います。 ・更なる発信や地域とのつながりがもてる機会を増やせるとよいと思います。 ・教育理念のもと社会に求められる人材育成に努めている。 ・地域の看護人材の育成については明示されて実際に説明されています。	



## 2. 学校運営

	評価項目	全体評価結果
Ⅱ 学校運営	5 目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切：3 ほぼ適切：7
	6 理念等を達成するための事業計画が策定されているか	
	7 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	
	8 人事、給与に関する規定等は整備されているか	
	9 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
	10 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	
	11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最善の策はとられていると思います。</li> <li>・運営については、学生は知らない部分が多い。</li> <li>・目的に沿った運営、理念を達成すべく事業計画が策定され、実践（運営）に努めている。</li> <li>・適切に運営されていると思います。</li> </ul>	

## 3. 教育活動

	評価項目	全体評価結果
Ⅲ 教育活動	12 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	ほぼ適切：10
	13 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
	14 カリキュラムは体系的に編成されているか	
	15 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
	16 授業で評価の実施・評価体制はあるか	
	17 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	
	18 目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	
	19 資格・要件を備えた教員を確保しているか	
	20 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	
	意見等	

## 4. 学修成果

	評価項目	全体評価結果
Ⅳ 学修成果	21 就職率の向上が図られているか	適切：1 ほぼ適切：8 やや不適切：1
	22 資格取得率の向上が図られているか	
	23 退学率の低減が図られているか	
	24 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向上のため教員チームが協力しあっているとよいと思います。</li> <li>・退学者が多い。仕方がないことではあると学生としては感じる。また、卒業生全員が就職することを目指すには、もう一度学生に契約内容の確認をする必要があると思う。</li> <li>・退学率の低減が課題。国試全員合格努めている。</li> <li>・進路変更での退学についても親身になって対応していると思います。</li> <li>・母体病院での評価は日常的に行われてフィードバックできていると思います。</li> </ul>	

## 5. 学生支援

	評価項目	全体評価結果
学生支援	25 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切：5 ほぼ適切：5
	26 学生相談に関する体制は整備されているか	
	27 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
	28 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
	29 学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	
	30 保護者と適切に連携しているか	
	31 卒業生への支援体制はあるか	
	32 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
	33 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手厚い学生支援に努めている。</li> <li>・保護者との連携をはかる機会は少ないのかなと感じる。</li> <li>・様々な場面において自治運営が強化できる環境をつくっていけるよう取り組んでいきたい。</li> <li>・学生の住居環境の充実も募集につながるのではないのでしょうか。</li> <li>・教学支援については細かく行われていると思います。相談体制も大学や他校に比べ極めて丁寧に行われていると思います。</li> </ul>	

## 6. 教育環境

	評価項目	全体評価結果
教育環境	34 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切：3 ほぼ適切：7
	35 学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	
	36 防災に対する体制は整備されているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備、特に人的環境は重要である。</li> <li>・防災に対する意識が低い学生が多いと思う。体制の整備と、意識の強化を行うべきだと思う。</li> <li>・協働するためのコミュニケーション力の up も大切であると考えます。</li> <li>・学生の体格向上により昔の机・椅子のサイズのままでもいいのか検討の余地はありませんか。</li> </ul>	

## 7. 学生の募集と受け入れ

	評価項目	全体評価結果
受学生募集と受け入れ	37 学生募集活動は、適正に行われているか	適切：5 ほぼ適：5
	38 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
	39 入学選考基準も明確化し、適正に運用しているか	
	40 学納金は妥当なものとなっているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限りできることを行っていると思います。</li> <li>・学生募集のための取り組みを行っていると感じる。</li> <li>・18才人口減少、選ばれる学校、広報活動が必要である。</li> <li>・公募推薦制度の導入は極めて効率的であった。</li> <li>・オープンキャンパスも多くの参加が保たれていると思います。</li> <li>・ガイダンスへの積極的参加も効果的だと思います。</li> <li>・匝瑳高等学校への講師派遣は今後の連携効果を期待します。</li> </ul>	

## 8. 財務

	評価項目	全体評価結果
財務	41 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切：2 ほぼ適切：8
	42 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
	43 財務について適正に執行管理が行われているか	
	44 財務情報公開の体制整備はできているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母体病院に伴い継続的な取り組みにより、無駄をなくしていくことが大切と考えます。</li> <li>・学生住宅の電気の使い方等、学生が主体となり見直す必要がある。</li> <li>・母体病院経営厳しい中でも安定した学校経営ができています。経費削減等、学校の努力は必要。(節電、節水)</li> </ul>	

## 9. 法令等の順守

×		評価項目	全体評価結果
法令等の順守	45	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	適切：6 ほぼ適切：4
	46	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
	47	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
	48	自己評価結果を公表しているか	
	49	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	
	50	学校関係者評価結果を公表しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更に整備していくことで適正な環境もつくられていくと思います。</li> <li>・評価結果を知りたい学生もいると思うので、公開していくと良いと思う。</li> <li>・個人情報保護の講義やオリエンテーションはされていますか。</li> </ul>		

## 10. 社会貢献・地域貢献

×		評価項目	全体評価結果
社会貢献・地域貢献	51	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切：1
	52	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	ほぼ適切：7 不適切：2
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更に地域に根づいていけるような発信や取り組みができるとよいと思います。</li> <li>・忙しい学校生活の中でボランティアを沢山行うのは難しいと思うが、積極的にできる範囲で行えば、地域貢献や学校のPRにもつながると思う。</li> <li>・彩花祭を学校で開催、継続して学生の達成感が高まると良い。</li> </ul>		